

建物と設備の概算要求案

Wish Dreams Come True

東京水産大学共同研究センターの建物と設備は改めて本年度概算要求として政府に申請します。活発なリエゾンオフィスとして活動できることを夢見ています。東京水産大学共同研究センターの目的は、研究交流・共同研究等を推進するとともに、社会との連携・協力事業を実施する場としての役割を果たすことです。概算要求案では次のような構想を打ち出しています。

共同研究のコーディネーションの施設

共同研究の質・量を高めるためにコーディネーションに重点を置く。学内外の情報収集・解析・企画立案するために企画室・情報編集加工室・資料室をもうける。さらに重要なのは、本施設が学内外の情報交換の場になることである。本施設に多目的研修室を設け、研修会の他に講演会、シンポジウム、セミナーを学会・民間団体等と共催して開き、情報を持っている人、決意能力のある人に足を運んでもらう。

さらに、多目的実験室 A では食品工場で使われる実機規模の機械・装置を、多目的実験室 B では各種の最新の分析機器を各メーカーから一定期間提供を受け、その使用を通じて人と情報が本センターに集まるように仕組む。また、玄関を入ってすぐの場所に展示スペースを設け、全学の主要な研究成果・社会貢献の様子を示してアピールする。

民間機関等との共同研究の施設

本学のシーズを民間機関等と共同してインキュベートする共同研究の場として実験室を設置する。

技術研修の施設

民間機関等の技術者に対する高度な技術教育及び研修を実施するために研修用実験室を整備する。まず次の実用的な3つの研修プロジェクトを準備する。①現在の食品業界で最も大きな対応課題とされている HACCP を対象とした「HACCP 対応研修プロジェクト」、②計測システムのオンライン化および集中制御を目指した「インテリジェントモニタリング対応研修プロジェクト」、③動物細胞を利用した環境ホルモンなどの有害物質対策を

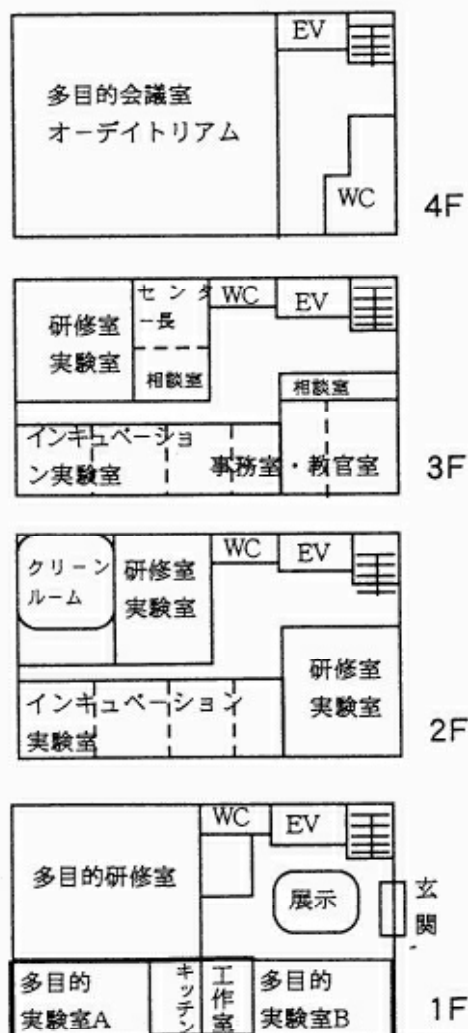
目指した「細胞環境制御技術研修プロジェクト」。本学の使命である複合境界領域における実用的な技術の習得を目指したもの。

技術相談・特許相談の施設

一般社会への学術情報の提供窓口として本センターに相談窓口を設ける。技術相談の他に時事問題に関して、また広く一般に海、魚、食品に関する質問・相談が本学に寄せられているが、それらを社会が本学に期待を寄せているものであると見て組織的な対応を目指す。また、特許等の相談も。

あらゆる教育・研究交流の施設

学内や他大学との教育・研究交流を支援するために、多目的研修室・多目的実験室を活用する。



東京水産大学地域共同研究センター
構想図

4Fの多目的会議室は地域共同研究センターとは別に同一建物に要求するものです。

民間等との共同研究をぜひ活発に！

地域共同研究センターの活動の活発さを計る指標として民間等との共同研究の件数がシバシバ使われます。本学の地域共同センターはこれだけでなくいろいろな指標で評価を受ける、多様な活動を展開していく計画をしておりますが、民間との共同研究の件数においても、昨年度飛躍的に件数を伸ばした実績をぜひ保持したいと念じております。ぜひとも、より多くの教官各位にご協力いただきますようお願いします。

民間等との共同研究受入一覧

平成11年度 30件

共同研究課題	本学担当者	契約相手方	区分
海洋生物よりの天然化合物の探索	波越通夫	コニカ(株)	B
海水・ビルジ水中の油成分分離	大槻晃	荏原エンジ(株)	A
麵の澱粉の糊化過程	渡辺尚彦	フクヤマ食品(株)	B
食品機械装置開発設計情報整理	渡辺尚彦	食品機械工業会	B
抗酸化性素材の開発	和田俊	森永製菓(株)	B
魚切り身包装リスク評価	藤井・木村	呉羽化学工業(株)	B
海洋微小生物微粒子測定法	田中祐志	紀本電子工業(株)	B
イカ類ATP関連・遊離アミノ酸	山中英明	(株)氷温研究所	B
イカ類の活魚輸送	山中英明	日本軽金属(株)	B
エビ類の鮮魚判定	山中英明	日本水産(株)	B
スルメイカの鮮魚判定	山中英明	ヤンマーディーゼル	B
多段開閉式ネット姿勢・濾水量	石丸隆	エス・イー・エイ	B
魚類の耐病性	岡本信明	(株)キョーリン	A
プラ・シート類のリサイクル	石川雅紀	財)政策科学研究所	B
紙パックの環境影響	石川雅紀	財)政策科学研究所	B
プラ・シート類のリサイクル	石川雅紀	財)政策科学研究所	B
食品構造研究へx線の高度利用	鈴木徹	日本フィリップス	B
いか塩辛熟成	藤井建夫	(株)ニチロ	B
水産加工廃棄物分解微生物	浦野直人	信田街詰(株)	B
食品容器包装リサイクル分別収集	石川雅紀	廃棄物政策研究所	B
迅速細菌数測定法	遠藤英明	日本水産(株)	B
エビ類の鮮度判定	山中英明	マルハ(株)	B

(平成11年度 つづき)

澱粉の白色度改善法	小川広男	クラウンスターチ	B
加工澱粉の食品への応用	小川広男	日澱化学(株)	B
各種加工澱粉による揚げコロモ	小川広男	奥本製粉(株)	B
食用頭足類の加熱による物性	小川広男	奥本製粉(株)	B
冷凍米飯の急速解凍方法の開発	高井隆雄	三洋電機(株)	B
コンクリート製藻礁の活着性	小池康之	太平洋セメント(株)	B
難分解キレート材の分解	今田千秋	ジャパンアースプロテクト	B
亜熱帯域海洋微生物の利用	今田・小林	マリーンバイオ	B

平成10年度 3件

海洋生物よりの天然化合物の探索	波越通夫	コニカ(株)	B
海水・ビルジ水中の油成分分離	大槻晃	荏原エンジ・サ(株)	A
冷凍フライ食品の水移動	渡辺尚彦	日本油脂(株)	B

平成9年度 3件

海水・ビルジ水中の油成分分離	大槻晃	荏原エンジ・サ(株)	B
閉鎖系における継代繁殖技術	竹内・吉崎	宇宙環境利用促進セ	A
イルカウォッチング生物環境	古沢・浜田	イルカウォッチング調査検討委員会	B

平成8年度 5件

閉鎖系における継代繁殖技術	竹内・吉崎	宇宙環境利用促進セ	A
魚介類の有用遺伝子の探索	岡本信明	真珠科学研究所	A
海水・ビルジ水中の油成分分離	大槻晃	荏原エンジ・サ(株)	B
未利用多獲性魚類の有効利用	磯直道	信田街詰(株)	B
イルカウォッチング生物環境	古沢昌彦	イルカウォッチング調査検討委員会	B

平成7年度 4件

魚類の生態防衛能	池田・舞田	キリンビール(株)	A
魚介類の有用遺伝子の探索	岡本信明	真珠科学研究所	A
閉鎖系における継代繁殖技術	竹内・吉崎	宇宙環境利用促進セ	B
米粒の糊化過程の分子工学	渡辺尚彦	三菱電機(株)	B